

Keeper Enterpriseによるプロビジョニングの自動化

Keeper Securityは、企業や個人がパスワードや重要なデジタル資産を保護する方法を変革し、サイバー攻撃を大幅に減らして生産性を向上させます。Keeperは、優れたパスワードマネージャおよびデジタル保管庫を提供し、何百万人もの人々と何千もの企業がデータ漏えいのリスクを大幅に軽減するのに役立ちます。

統一されたディレクトリサービスへの移行

ID管理を担当するIT管理者は、オンプレミスとクラウドベースのインフラの両方で利用できる統一された企業ディレクトリ構造の構築と維持に奮闘しています。Active Directoryは、Microsoftを中心とした環境で、リソースへのアクセスを制御するために伝統的に使用されてきました。多くの企業がクラウドに移行するにつれ、オンプレミスのADからAzure ADへの移行や、2つの環境間のレプリケーションが行われてきています。多様な要件を1つの統一されたディレクトリに統合するDirectory-As-A-Service (DaaS) 製品も登場しています。

情シスは、複数のディレクトリサービスを維持することを避けようとしません。それは、運用の複雑さ、非効率性、セキュリティの脆弱性をもたらすからです。企業のリソースへのアクセスを制御し、効率的かつタイムリーにアクセスを排除することは、コンプライアンスやデータ漏洩の防止に不可欠です。

Keeperによるプロビジョニングの自動化

コンプライアンスを確保し、Keeper Enterpriseの導入と展開を簡素化する最も重要な方法の1つは、自動プロビジョニング方法を使用することです。Keeper Enterpriseは、パスワード保管庫の自動デプロイとプロビジョニングのために、オンプレミスとクラウドベースのディレクトリサービスの両方と統合します。Keeperの自動プロビジョニングにより、情シスはエンドユーザーの別のディレクトリを管理することなく、エンドユーザーの保管庫をデプロイすることができます。

自動プロビジョニングの特徴

- ユーザーのオンボーディングとオフボーディング
- SAML 2.0によるユーザー認証
- SCIMとの連携
- チームの作成と管理
- ロールエンフォースメントポリシーの管理
- チーム共有フォルダへのアクセス

SCIM (System for Cross-Domain Identity Management)

KeeperはSCIM 2.0をサポートしています。SCIMはJSONメッセージ構造を使用するRESTベースのAPIです。Keeper SCIM エンドポイントはユーザーとグループリソース、および以下のメッセージタイプをサポートしています

Base Product	Teams
ユーザーの情報を取得する	ユーザーの情報を取得する
ユーザーを追加する	チームを追加する
ユーザープロフィールをアップデートする	チームにユーザーを追加する
ユーザーを削除する	チームを削除する

SAML (Security Assertion Markup Language)

Keeperは、弊社独自のKeeper® SSO Connect ソフトウェアでユーザーをプロビジョニングおよび認証するためのSAML 2.0をサポートしています。Keeper SSO Connect は、SAML 2.0アプリケーションであり、Keeperのゼロナレッジセキュリティアーキテクチャを活用して、安全かつシームレスにユーザーをKeeper Vaultに認証し、プラットフォームにユーザーを動的にプロビジョニングします。

Keeper SSO Connect は、以下の機能をサポートしています。

- SAML 2.0準拠のアイデンティティ・プロバイダー(IdP)とのシームレスな認証
- ユーザーのジャストインタイム (JIT) プロビジョニング
- デスクトップ、モバイル、タブレット端末など、あらゆるプラットフォームでのアクセス
- SAMLベースのユーザーと非SAMLユーザーのセグメント化

Keeper Enterprise*との例示的な統合

- Keeper AD Bridgeソフトウェアを使用したオンプレミスのActive Directoryの同期
- SAML 2.0とSCIMによるMicrosoft Azure ADの統合
- SAML 2.0を介したG Suiteの統合、およびSCIMを介した自動プロビジョニング
- SAML 2.0を介したOktaの統合、およびSCIMを介した自動プロビジョニングに
- セルフサービスと電子メール認証による電子メールベースのプロビジョニング
- Keeper Commander CLIおよびSDKプラットフォームを使用したAPIプロビジョニング
- SAML 2.0準拠の任意のアイデンティティ・プロバイダ(IdP)
- SCIM 2.0準拠の任意のディレクトリサービスまたはアイデンティティプロバイダ(IdP)

*お客様のプロビジョニング環境に応じて、追加の統合が可能です。

システムアーキテクチャ

